

# 令和5年 救助統計



## 村山市消防本部

救助業務実施状況調(年報)に基づき作成しています

# はじめに

この統計は、令和5年の村山市において発生した、救助出動の実態を分析し、安全・確実・迅速を目的とした、今後の救助業務の進展に資するとともに、市民の理解と協力を得るために作成したものであります。

## 目次

○ 救助事故等の種別及び区分に使用される用語について

	ページ
1. 救助出動の概要 - - - - -	1
2. 救助出動・活動・人員状況 - - - - -	2
3. 発生場所別救助出動状況 - - - - -	2
4. 車両別救助出動状況 - - - - -	2
5. 隊員別救助出動状況 - - - - -	2
6. 月・曜日別救助出動状況 - - - - -	3
7. 過去10年間の救助出動状況 - - - - -	3
8. 救助隊員の訓練実施状況 - - - - -	4
9. 救助工作車の運行状況 - - - - -	4

この統計の用語及び分類等については、総務省消防庁の『救急事故等報告要領』に基づき作成しています。

- 出 動 件 数 消防機関が救助活動を行う目的で出動した件数をいう。ただし、火災の場合は、救助活動を行うことができる資機材等を装備した消防隊が出動した件数をいう。
- 活 動 件 数 救助出動件数のうち、消防機関が何らかの救助活動を行った件数をいう。ただし、火災の場合は、救助活動を行うことができる資機材を装備した消防隊が出動した火災のうち、消防機関が何らかの救助活動を行った件数をいう。
- 救 助 人 員 消防機関が救助活動により救助した人員をいう。
- 事 故 種 別
- (1) 火災  
火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
  - (2) 交通事故  
すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
  - (3) 水難事故  
水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
  - (4) 風水害等自然災害事故  
暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地滑りその他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
  - (5) 機械による事故  
エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。
  - (6) 建物等による事故  
建物、門、柵、塀等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。
  - (7) ガス及び酸欠事故  
一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。
  - (8) 破裂事故  
火災事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。
  - (9) その他の事故  
(1)～(8)に掲げる事故以外で、消防機関による救助を必要としたもの。

## 1. 救助出動の概要

### 救助出動・活動・人員状況

令和5年の救助出動件数は17件、救助活動件数は7件、救助人員は7人となっています。事故種別ごとにみると、交通事故が12件で最多となっています。

### 発生場所別救助出動状況

救助出動件数を発生場所別にみると、交通事故に伴う道路上が12件(71%)。水難事故に伴う水面が1件(6%)。建物等事故に伴う住居が1件(6%)。その他の事故が3件(17%)となっています。その他の事故の内訳は水面1件、山岳が1件、その他の屋外が1件となっています。

### 車両別救助出動状況

救助出動件数を車両別にみると、出動車両49台のうち救助工作車、化学車、救急自動車が大半を占めています。1件当りの出動車両は2.8台となっています。

### 隊員別救助出動状況

救助出動件数を隊員別にみると、出動隊員135人のうち救助隊員は20人(15%)、消防隊員は57人(42%)、救急隊員は56人(41%)、指揮隊員は2人(2%)で、1件当りの出動人員は7.9人となっています。

### 月・曜日別救助出動状況

救助出動件数を月別にみると、5月が4件で最多、曜日別の件数は土曜日が6件で、最多となっています。

### 過去10年間の救助出動状況

救助出動件数は平成30年・令和元・3・5年の17件が最高です。救助活動件数では令和3年の16件が最高です。救助人員は令和2年度が7月豪雨に伴う救助出動もあり過去最高となっています。過去10年間の平均は、出動件数14.8件、活動件数8.1件、救助人員15.8人となっています。

### 救助隊員の訓練実施状況

訓練回数は186回で、訓練時間は325.5時間となっており、訓練1回当りの参加人員は6.5人、実施時間は1.6時間となっています。

### 救助工作車の運行状況

運行回数は78回で、走行距離は1608kmとなっています。

## 2. 救助出動・活動・人員状況

救助区分	事故種別									合計
	火災	交通	水難	自然	機械	建物	ガス	破裂	その他	
救助出動(件)		12	1			1			3	17
救助活動(件)		5							2	7
救助人員(人)		5							2	7

## 3. 発生場所別救助出動状況

発生場所(件)	事故種別									合計
	火災	交通	水難	自然	機械	建物	ガス	破裂	その他	
住居						1				1
その他の屋内										
道路		12								12
水面			1						1	2
山岳									1	1
その他の屋外									1	1
地下										
その他										
合計		12	1			1			3	17

## 4. 車両別救助出動状況

車両区分(台)	事故種別									合計
	火災	交通	水難	自然	機械	建物	ガス	破裂	その他	
救助工作車		11	1			1			3	16
消防ポンプ車		1								1
化学車		9							3	12
指揮車(広報車)									1	1
救急自動車		13	1			1			3	18
その他の車両									1	1
合計		34	2	0	0	2	0	0	11	49

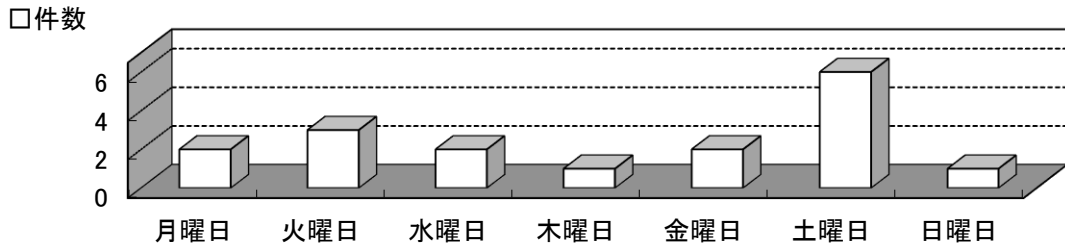
## 5. 隊員別救助出動状況

隊員区分(人)	事故種別									合計
	火災	交通	水難	自然	機械	建物	ガス	破裂	その他	
救助隊員		15	1			1			3	20
消防隊員		41	2			1			13	57
救急隊員		41	3			3			9	56
指揮隊員									2	2
合計		97	6			5			27	135

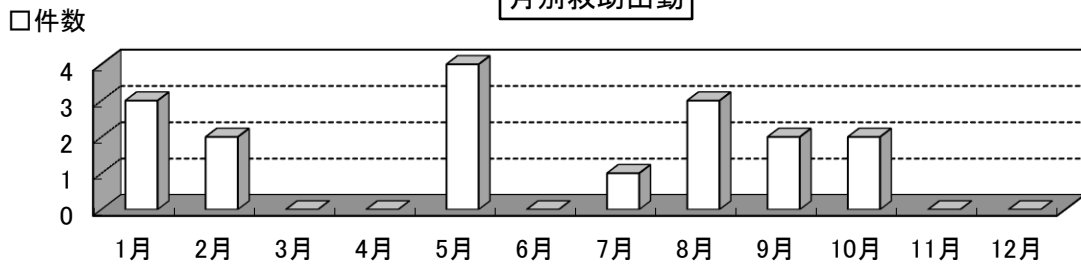
### 6. 月・曜日別救助出動状況

月曜日	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
月曜日				1			1					2
火曜日		1							2			3
水曜日	2											2
木曜日				1								1
金曜日		1		1								2
土曜日	1			1		1	2	1				6
日曜日								1				1
合計	3	2	0	0	4	0	3	2	2	0	0	17

曜日別救助出動



月別救助出動

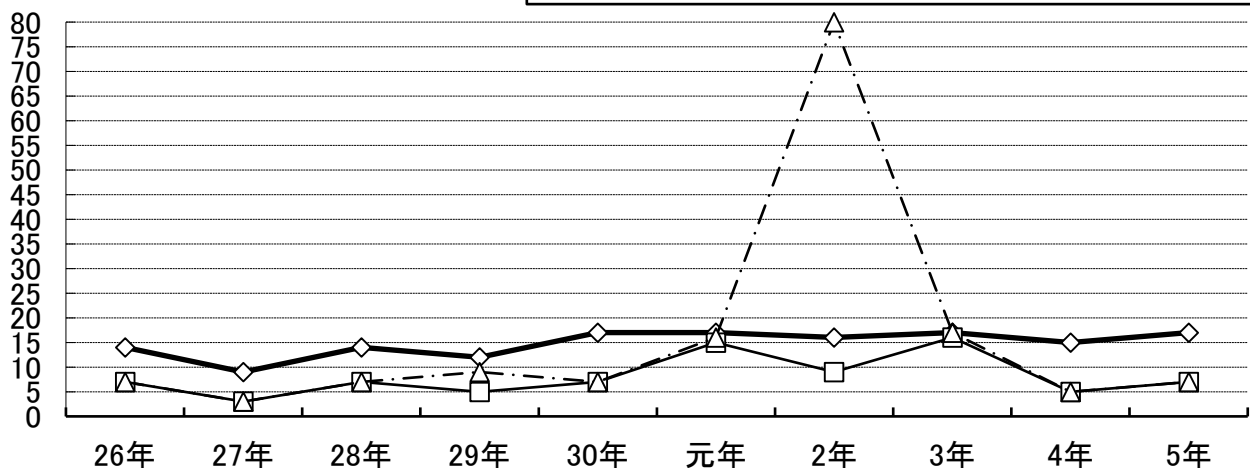


### 7. 過去10年間の救助出動状況

救助区分	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	平均
救助出動(件)	14	9	14	12	17	17	16	17	15	17	14.8
救助活動(件)	7	3	7	5	7	15	9	16	5	7	8.1
救助人員(人)	7	3	7	9	7	16	80	17	5	7	15.8

件数

—◇— 救助出動    —□— 救助活動    —△— 救助人員

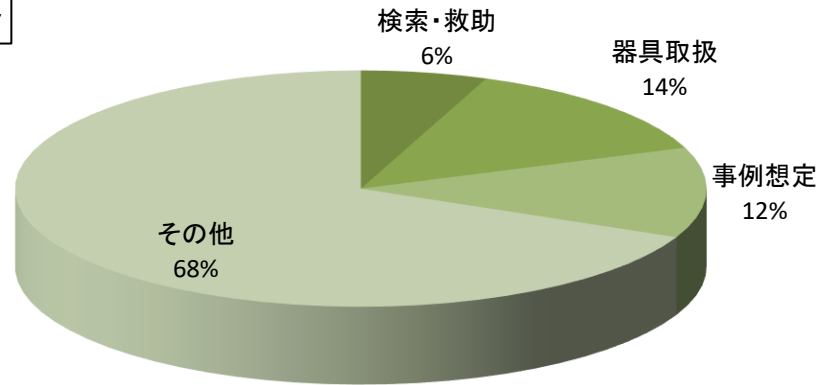


過去年

### 8. 救助隊員の訓練実施状況

訓練種別	訓練回数 (回)	訓練人員 (人)	訓練時間 (時間)	1回当りの		備考
				参加人員	実施時間	
検索・救助訓練	11	68	18.0	6.1	1.6	車両・高所・連携訓練
各種救助器具取扱訓練	25	139	37.0	5.6	1.5	器具取扱訓練
各種救助事例想定訓練	23	164	41.0	7.1	1.7	想定・検討・合同訓練
その他の訓練	127	907	229.5	7.1	1.8	水難・山岳
<b>合計</b>	<b>186</b>	<b>1,278</b>	<b>325.5</b>	<b>平均 6.5</b>	<b>平均 1.6</b>	

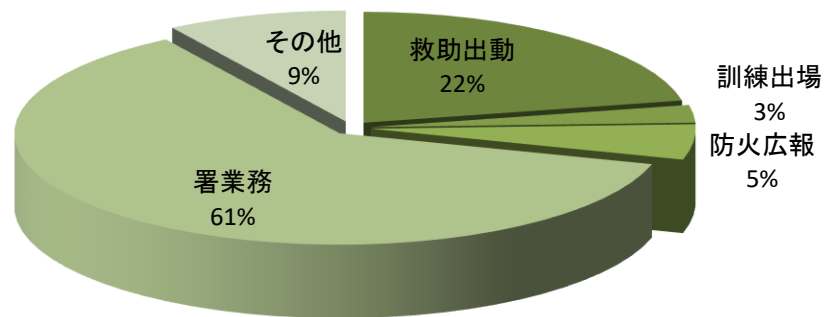
訓練実施割合



### 9. 救助工作車の運行状況

走行区分	救助出動	訓練出場	防火広報	署業務	その他	合計
走行回数(回)	17	2	4	48	7	78
走行距離(km)	229	3	47	492	837	1608

運行回数割合



令和5年版 救助統計

編集 村山市消防本部

Tel 0237(55)2514 Fax 0237(53)3119

E-mail : syoubouhonbu@city.murayama.lg.jp